

| | |
|-----|----------|
| 事業名 | 企業誘致推進事業 |
|-----|----------|

| | |
|------|--------|
| 総事業費 | 239 千円 |
|------|--------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-----------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 新たな産業基盤と雇用環境の整備 |
| | 基本事業名 | 雇用機会の拡充 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|------|-----------------------------------|
| 事業の意図 | 把握する | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 鹿児島県企業立地懇話会への参加 まちなか交流施設の運営 |
| | 成果 | 懇話会での名刺交換、情報交換 20社 まちなか交流施設の利用 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 離島というハンデもあり、なかなか企業の誘致につながらない。 馬毛島自衛隊基地建設工事の影響により、宿泊が取りづらい、企業が入りにくい状況にある。 まちなか交流施設については、施設の規模が小さく、ワーケーション施設として利用するには使い勝手が悪い。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 種子島という知名度を生かした宇宙産業ビジョンによる宇宙関連産業やIT関連企業について受入れを進めたいが、実績として企業誘致には繋がっていない。 企業立地懇話会への参加、出郷者会での繋がりを大事に、可能性の検討、企業との対話に繋げたい。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|--|
| 2025年度 方向性 | 企業誘致における情報発信や鹿児島県企業立地懇話会に参加して企業との対話に繋げる。 |
|------------|--|

| | |
|-----|----------|
| 事業名 | 雇用機会拡充事業 |
|-----|----------|

| | |
|------|-----------|
| 総事業費 | 28,524 千円 |
|------|-----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-----------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 新たな産業基盤と雇用環境の整備 |
| | 基本事業名 | 雇用機会の拡充 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|-------------|--|
| 事業の意図 | 雇用機会の拡充を図る。 | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う民間事業者等に対してその事業資金一部を補助することにより、雇用機会の拡充を行った。 |
| | 成果 | 事業拡大2件創業1件の事業実施があり、雇用創出人数計10名だった。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 事業計画をしっかりと把握し、必要に応じて資料の提出依頼や現地調査なども行う。また、事業期間終了後も、継続的に雇用できているかの確認を実施する。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う民間事業者等に対してその事業資金の一部を補助することにより、雇用機会の拡充を図った。 創業1件、事業拡大2件の事業実施があり、雇用創出数計10名であった。 物価高騰、馬毛島工事の影響もあり、資材確保等スケジュールリングが上手くいかない事例もあることから、今後も進捗管理には念を入れ対応していく必要がある。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|---|
| 2025年度 方向性 | 令和7年度は事業拡大が3件、創業が2件の計5件の事業者が採択された。本来の目的でもある雇用の面はもちろんだが、改修工事など事業計画に沿った事業の実施ができたているかを現地調査などを行い確認し、円滑な事業実施に取り組む。 |
|------------|---|

| | |
|-----|----------|
| 事業名 | 雇用充足促進事業 |
|-----|----------|

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 6,000 千円 |
|------|----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-----------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 新たな産業基盤と雇用環境の整備 |
| | 基本事業名 | 雇用機会の拡充 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|---|--|
| 事業の意図 | 本市に移住を考えている方と求人を探している市内事業者をマッチングし、移住促進及び事業者への人材供給を図る。 | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 「仕事マッチングツアー」と題し、種子島に移住を検討しており、西之表市に就業を考えてもよいという人材を募集した。 本市の雇用の確保、移住の推進、島暮らしの魅力の発信を目的として事業を実施した。 9月27日：種子島東京交流会 10月3日：リアル×オンライン ハイブリッドイベント「種子島の仕事と暮らしを知る トークイベント&交流会」 |
| | 成果 | 事業に関して多くの事業者（種子島石油/コスモ学院（バリューストリーム）/NPO法人こすも/百合砂/わらび苑/種子島自動車学校/ホテルレクストン種子島/地域おこし協力隊）の協力を得られた。 今年度、実際にツアー参加者の移住は令和7年4月に1人、6月に1人。広報活動のなかで種子島の移住に興味を持ち8月に1人。さらにツアー参加者が友人に魅力を伝え、6月に1人となる。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|--|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 年度内にすぐ移住や就労実績ができるものではないため、長期的な経過フォローや地域支援課との連携が継続的に必要となる。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 首都圏から15名の参加者。参加者のうち、昨年は1名が市内事業所に雇用、本年も参加者2名、知人1名の3名を予定。 本事業については、継続した情報発信と移住・就業機会を提供していくことが重要であり、複数年の中で実績を求めていくことも必要である。ただ、現在の担い手不足を考えると、早急に結果を求めることができる取り組みも同時に考え、実施していく必要もある。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|---|
| 2025年度 方向性 | 実際に事業所を訪問してのマッチングツアーの実施を行う。また、ツアー後の参加者のみならず、市内事業者のフォロー体制についても強化を行う。 |
|------------|---|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|---|--------|
|  | ツアーの様子 |

| | |
|-----|-----------|
| 事業名 | 特定地域づくり事業 |
|-----|-----------|

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 5,973 千円 |
|------|----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-----------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 新たな産業基盤と雇用環境の整備 |
| | 基本事業名 | 雇用機会の拡充 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|----------------|--|
| 事業の意図 | 地域産業の担い手を確保する。 | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 地域人口の急減に対応するための特定地域づくり事業の推進に関する法律(R2.6.4施行)を受けて、組合運営の補助を行う事業。 人材不足で事業継続が困難な事業者や、期間的な雇用に困っている事業者にマルチワークとして派遣する。 |
| | 成果 | 派遣できている事業者は制度を活用し、人員を確保できているため助かる事業であるとする。鹿児島県中小企業中央会や鹿児島県とも連携をとり、進めている。 一方で、派遣職員の確保が組合の継続にかかわるため、早急に求人広報をして派遣職員を増やすことが必要となる。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|--|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 派遣労働者人材確保/派遣職員の住宅確保 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 地域人口の急減に対応するための特定地域づくり事業の推進に関する法律(R2.6.4施行)を受けて、担い手確保に対応するため組合運営補助を行っている。 現在は5名の目標に対し、3名の雇用であるが、繁忙期の担い手確保に対応していくうえで、貴重な事業となっている。 事務局長が変わる等、体制の変更もあるが、引き続き、目標に対する人材確保を進めてほしい。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|---|
| 2025年度 方向性 | 基本的には組合側で事業展開を図るが、職員の雇用が急務であり、市としても協力しながら円滑な運営ができるよう補助する。 |
|------------|---|

| | |
|-----|-----------------|
| 事業名 | 西之表市商工業人材確保対策事業 |
|-----|-----------------|

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 2,900 千円 |
|------|----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-----------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 新たな産業基盤と雇用環境の整備 |
| | 基本事業名 | 雇用機会の拡充 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|----------------|---|
| 事業の意図 | 雇用の確保、移住・定住の促進 | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 市内事業所において、働き手、担い手が不足していることから、UIターン者や新卒就職に対し奨励金を支給した。 |
| | 成果 | 本制度を実施することで、労働力確保と就労のきっかけづくりに繋がった。特にUIターンを検討している人を中心に関係課と連携を取りながら制度の周知を行った。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 馬毛島自衛隊基地建設工事に伴い、住宅不足や家賃高騰のためUIターン者が入りづらい環境となっている。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 商工業については、特定事業者以外の700社程を対象にしていることもあり、純粋に島外からの人材確保と高校卒業者のみを対象としており、高校卒業生2名を含め16名の実績だった。今後も関係課との連携を更に強め、制度の周知を行い、島外からの人材確保に繋げる必要がある。 一方で、市内、島内における人の奪い合いが起きているという苦情もあるので、情報発信、事業推進のあり方を検討する必要がある。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 2025年度 方向性 | 関係課と連携して情報発信を行い、人材確保や担い手不足に力を入れる。 |
|------------|-----------------------------------|